

1/18 木 旗

#### 4週連続最多

総務省消防庁は17日、患者の搬送先がすぐに決まらない「救急搬送困難事案」が、9・15日の1週間で前週比8%増の8161件に上ったと発表しました。4週連続で最多を更新し、2020年4月の調査開始以来初めて8000件を突破しました。新型コロナウイルスの感染拡大が続いている影響で、医療提供体制が逼迫（ひっぱく）しています。

## 搬送困難8000件突破

いふためとみられます。  
困難事案の件数は前年同期の1・9倍。コロナに感染した疑いがあるケースは、全体の3割弱に当たる23340件でした。

消防庁は、政令市や県庁所在地など全国52カ所の消防本部を対象に調査。4カ所以上の医療機関に搬送を照会し、救急隊が現場に到着してから搬送開始までに30分以上かかったケースを困難事案と定義しています。